



地域おこし協力隊

やました つとむ

山下 勉

大阪府箕面市より転出

2016年6月卒隊



Instagram

隊員時のミッション・活動

域学連携事業、都市農山村交流事業、獣害対策などの実践。また、淡路島の隠れた地域資源である「馬」に関する調査、コンテンツ開発、イベント企画（馬合宿、馬場 BAR、馬耕復活、あ

わじシマ!ウマ!ウェディング@尼崎、馬博2014 など）に携わる。卒隊後に向けて農耕馬の風月を受け入れる準備を進めた。



現在の仕事や活動

「くらしに馬を」をコンセプトに、保護馬交流牧場 SHARE HORSE ISLAND を運営。風月、アネロワ、シランとのくらしをシェアしている。これまでレジャー分野や馬との米作りやビーチ

クリーンの活動をしてきたが、今後は馬との関わりをベースにした学び（研修）とアートの領域を拡充する。年内にグループ展と新たな拠点に移転、来年馬博 2026 を開催予定。





地域おこし協力隊

たけむら たく

竹村 啄

兵庫県神戸市より転出

2016年3月卒隊



Instagram

隊員時のミッション・活動

生サワラ丼PRのため、キッチンカーを製作・使用し、イベント「レトロなまち歩き」などに
出店。キッチンカーを使用した活動では、夏季
のみ新都志海水浴場にも出店。また五色町にて

田畑の猪被害に対する獣害対策として狩猟免許
(罟)を取得し捕獲を行った。域学連携では学
生のアテンドなども行った。



現在の仕事や活動

神戸・元町マルシェにて勤務。協力隊活動時
にお世話になった農家さんたちとも取引があっ
たので活動経験を活かすことができた。その後、
卒業後に妻と「Book&Coffee coyomi」を開業。

初めは中川原にある NPO あわじ FAN クラブさ
んのチャレンジショップでお世話になり、今の
鳥飼浦に移転。淡路島唯一の古本屋でもある古
本と新刊を売る本屋&カフェを営業中。





地域おこし協力隊

うしろめい
後 芽 生

兵庫県神戸市より転出
2017年5月卒隊



Instagram

隊員時のミッション・活動

耕作放棄地が増える中、見知らぬ人には農地を貸したくないという地主がいる一方で、淡路島で農業をしたいという方が増えている。そのため、地元のことをよく知る親方農家さんと農

業をしたいという方のマッチングを行っていた。また、自らも地元の方に農地を借り、栽培から出荷までを行い、農業体験の受け入れも行っていた。



現在の仕事や活動

卒隊後は夫と共に五色町都志で農業を本格的にスタート。農業体験の受け入れや若手農家との情報交換も行いながら、毎年、栽培品目や農地、販売方法を見直し、試行錯誤を重ねている。地

域に根ざした持続可能な農業を目指し、日々土と向き合っている。農業と子育ての両立の難しさも感じながらも、どちらも楽しむことを忘れず頑張っている。





地域おこし協力隊

たかぎ あき

高木 愛季

東京都小金井市より転出

2019年5月卒隊



Instagram

隊員時のミッション・活動

放置竹林活用に関するイベント企画・情報発信（竹マイスターになろう、あわじ里山プロジェクト発足など）■域学連携事業（連携先大学来島時の全面的なサポート）■地域資源・農産物

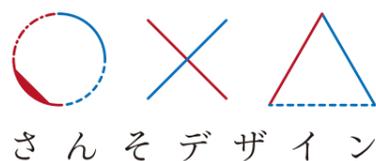
のPR（東京・大阪などでの食イベントの企画、鮎原米PR企画）■市有古民家ついではんの運営支援（管理、活用方法の検討）



現在の仕事や活動

2021年3月、洲本市地域おこしマイスターOBの夫と二人で任意団体「さんそデザイン」を結成。淡路島を拠点に、表現と自立をテーマに活動中。2024年「表現万博 Vol.00」開催。

■地域資源を活用したものづくり、まちづくり
■DTP及びプロダクトデザイン
■上記に係る講演・研修・相談受付、及び小中高生を対象とした教育プログラムの企画実践。





地域おこし協力隊

つかだ ひろみ

東田 裕美

兵庫県川西市より転出

2019年5月卒隊



Instagram

隊員時のミッション・活動

旧益習館庭園の看板や洲本城の幟（のぼり）、洲本市立淡路文化史料館で販売中の御城印、チラシ等、特技である筆文字を活かし、洲本市の歴史文化遺産並びに淡路島日本遺産に関する企

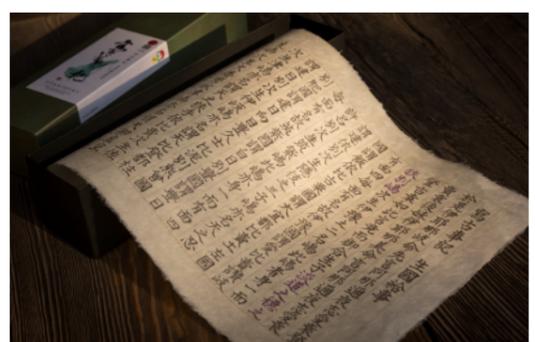
画やPRを行う。「庚午事変」の紙芝居を作成し、書道パフォーマンスと共にイベントで披露。淡路島日本遺産のオリジナルグッズとして「写古事記」と「銅鐸・銅鏡チョコレート」を開発。



現在の仕事や活動

書道体験スペース【五色の恋文】を運営（五色町都志大日）。「でっかい書道体験」を気軽に参加してもらえるように奇数月23日をオープンデーにしている。リニューアルした写古事記や

手ぬぐいも好評販売中！「花みどりフェア」や公民館、お寺などのイベントにて書道パフォーマンスを行う。だんじり唄「五色之姫」のメンバーとして、洲本市女性消防団としても活動中。





地域おこし協力隊

ふじさき こうへい

藤崎 耕平

大阪府堺市より転出

2019年12月卒隊

隊員時のミッション・活動

洲本市へ移住を検討している人に向けての情報発信及び、島外の移住イベントへの参加や空き家を使ったDIYワークショップを実施。イベント開催時には、田舎では子ども向けのプログラ

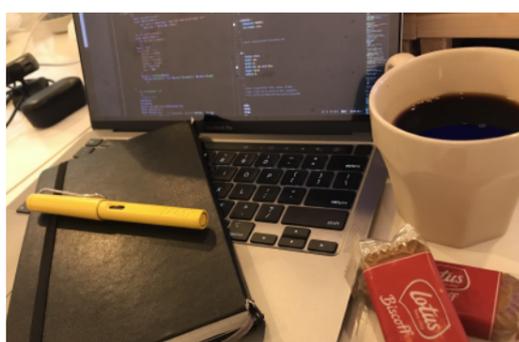
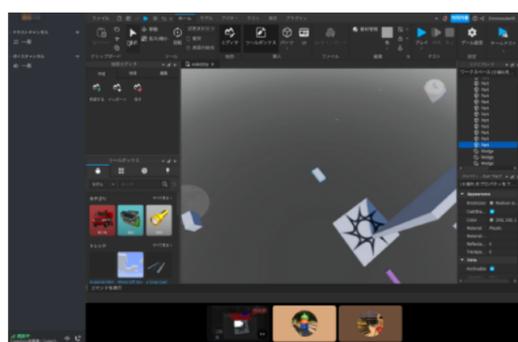
ミング教室が少なく都市部と格差を感じるという意見も聞いたので、子どもが自由にプログラミングできる場として「CoderDojo 淡路島」を立ち上げた。



現在の仕事や活動

現在はWEBコンサルティングを軸に、システム開発などICTに関わる仕事をしている。また、協力隊時に立ち上げたプログラミングを学べる場としての「CoderDojo 淡路島」はコロナ禍の

影響で縮小してしまっただが、偶数月は会場での開催、奇数月はオンライン開催として引き続き活動を続けている。





地域おこし協力隊

みさき ゆうた

三崎 雄太

東京都練馬区より転出

2020年2月卒隊



Instagram

隊員時のミッション・活動

農業振興、域学連携事業、獣害対策事業の3つをテーマに活動。各テーマを通じて農業における知識や人脈を増やし、主に洲本市で新規就農を刷る方を誘致するイベントや支援を行い、8

世帯の新規就農者誘致に関わった。また、卒隊後の就農に向けて、農業の研修や地域として担い手を受け入れる環境を整えるために主体的に活動を行った。



現在の仕事や活動

卒隊後、島ノ環（しまのわ）ファームとして独立就農し、「小さく地域で循環する農業」をコンセプトに、淡路島の副産物を活用して平飼い養鶏と無農薬野菜の生産を行っている。また、

協力隊の時の人脈を活かし、鮎原宇谷集落にて地域づくりを目的とした「宇谷のみらいを創る会」を発足。集落を維持するため、活動を並行して行っている。





地域おこし協力隊

たにぐち ふみお

谷口 史朗

京都府宇治市より転出

2022年5月卒隊



Instagram



HP

隊員時のミッション・活動

地域資源の利活用、地域コミュニティの醸成、域学連携の3点をメインに活動。地域資源の利活用では集落の農産物のリデザインや島外に向けた販売を行うと同時に地域産品を使用したお

土産といった加工品の開発も。他にも、地域の行事や民間信仰をイベント化し、その地域のファンになってもらうことで地域コミュニティが長く続くための仕組みづくりに注力した。



「おもんだに米」
ギフトパッケージ



現在の仕事や活動

洲本市千草・竹原集落で「竹原原木椎茸」の屋号で原木椎茸の栽培と販売を行う。フレッシュの原木椎茸や乾燥椎茸は、主に島内外のスーパーや飲食店、直売所などに卸売販売。春と秋

には、観光客向けの原木椎茸狩りができる、原木椎茸と自然を楽しめる観光農園を運営。「原木椎茸で感動体験を」をコンセプトに地域と共に成長する原木椎茸ブランドを目指している。





地域おこしマイスター

のだ みつる

野田 満

東京都八王子市 出身

2022年10月卒隊



Instagram

隊員時のミッション・活動

洲本市への移住を前提としない「地域おこしマイスター（兵庫県地域再生協働員）」として、大学専任教員とのダブルワークによる小規模集落での地域づくりの伴走支援（イベント及び

WSの企画運営やファシリテーション、資金調達、デザイン実務）等に従事。任期中の大学異動（東京都立大学→近畿大学）に伴い、ラボ単位で域学連携事業としての活動にも参画。



現在の仕事や活動

引き続き大学教員として域学連携事業への継続参画を通じた地域づくりの実践、研究、教育に従事。またまちづくり／むらづくり分野の有識者として兵庫県地域再生アドバイザー、総務省

過疎地域持続的発展優良事例表彰委員ほか国や自治体の委員、各地の地域おこし協力隊の研修講師等を歴任。任期中に発足したユニット「さんそデザイン」の共同代表としても活動中。





地域おこし協力隊

サリー ハンコックス

南あわじ市より転出

2023年2月卒隊



Instagram

隊員時のミッション・活動

洲本をPRする資源の一つとして、「AiAii」という天然藍のビジネスを立ち上げ、藍の栽培と発酵方法を学びました。また、製品作りや、様々な人々を対象とした藍染体験の企画にも携わり

ました。洲本市の学生や子供たちの協力を得て、地元住民のため3箇所（大浜海岸、A BRICK、あいが保育所）に壁画アートを制作した。



現在の仕事や活動

洲本に天然藍と絞りについて学ぶために訪れる世界中からの人々と、数多くのワークショップを開催し続けている。地元企業向けの暖簾などの製品制作や、ASICSなどのグローバルブラン

ドとの限定コレクションの制作も行った。また、196件の応募の中から、ジャパン・トラベル・アワード2025のサステナビリティ賞を受賞。





地域おこし協力隊

かたやま じゅんぺい

片山 純平

大阪府豊中市より転出

2023年6月卒隊

隊員時のミッション・活動

スポーツを通じた移住・定住の促進をはじめ、広域的な交流を生むスポーツイベントの企画・運営、市の魅力やスポーツ情報の発信、施設利用の促進、さらにはアスリートと連携したス

ポーツ教室の実施など、地域に根ざした多角的なスポーツ振興に取り組んできました。



現在の仕事や活動

現在は、これまでの経験を活かし、「FC.AWJ」の運営を主軸に、地域課題と真正面から向き合いながら、スポーツを通じたつながりや活力を生み出し、誰もが住み続けたいような、よ

り良い地域環境の実現を目指して取り組んでいます。





地域おこし協力隊

こばやし りき

小林 力

東京都東村山市より転出

2024年3月卒隊



Instagram

隊員時のミッション・活動

洲本市千草に位置する小規模集落「竹原集落」の地域振興に従事。古民家活用をテーマに集落内の産業や活動（原木椎茸や観光農園、飲食業）に親和性のある宿泊事業の創業に向けて活動。

地域と大学が連携する域学連携事業においては、学生と地域の橋渡しをしながら、古民家でのDIYワークショップなどを通じて関係人口の創出に努めた。



現在の仕事や活動

卒隊後は、活動地である竹原集落に移住。Web関連事業で地域外からの外貨を稼ぎながら、継続して集落での宿泊拠点の整備を実施（2025年中に営業開始予定）。同集落内のキャンプ場

や原木椎茸農業の事業主と密に連携を取り、HP制作や運用支援、生産活動支援に携わる。また、域学連携事業の地域人材としても継続して活動中。





地域おこし協力隊

かつげんげつ
葛言傑

宮城県仙台市より転出
2024年3月卒隊

隊員時のミッション・活動

洲本市を訪れる日本人および外国人観光客向けに、地域資源を活かしたガイドツアーや文化体験コンテンツを企画・実施した。Facebook、Instagram など複数の SNS を活用し、洲本の

観光情報や季節の魅力を多言語で発信した。語学力を活かし、外国人観光客対応や多文化交流イベントの運営支援など、インバウンド対応にも積極的に取り組んだ。



現在の仕事や活動

卒隊後、株式会社ファイブゼンを設立。淡路島を拠点に、観光振興・商品開発・教育交流を通じた地域活性化を目指す地域商社として活動している。外国人学生の短期交流や長期留学の受

け入れ、地域資源を活かした観光ツアーや体験型プログラムの企画・実施に加え、多言語対応によるインバウンド誘致や、地域の魅力を国内外に発信する広報活動にも力を入れている。

